

情報連絡員報告総括表（令和3年5月分）

三重県中小企業団体中央会
 連絡員総数 40名
 回答数 40名（100%）

業界の景気動向（前年同月比）

	売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員 <small>（臨時・パートを含む）</small>			業界景況					
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化			
製 造 業	食料品		4		4		2	2			4			2	2		3	1		3	1		3	1		2	2			
	繊維工業			3		3		3			3			1	2		2	1		2	1		2	1		1	2			
	木材・木製品	1				1	1			1			1				1		1				1			1				
	紙・紙加工品			2		2		1	1		1	1			2	1	1			1	1		2				2			
	印刷		1			1		1			1			1			1			1			1				1			
	化学・ゴム																													
	窯業・土石製品	2		1	1	2			3			3		2	1		3		1	2			3			1	2			
	鉄鋼・金属	1				1			1			1			1			1		1			1			1				
	一般機器	1	1	1		2	1		3			3		1	1	1	1	2		1	1	1	1	1	1	1	1	1		
	電気機器			1			1			1					1				1			1			1			1		
	輸送機器	1					1		1			1			1				1				1			1				
その他																														
小計	6	6	8	1	15	4	3	15	2	1	18	1	2	9	9	3	14	3	5	10	5	2	14	4	4	5	11			
非 製 造 業	卸売業		2		2			2			2			1	1		2		X				2			1	1			
	小売業	1	3	2	1	5		2	4		5	1		3	3		2	4					6			3	3			
	商店街		1			1			1			1			1		1						1				1			
	サービス業	1	3	1	X	X	X	1	4			5		1	3	1		4		1				4	1		4	1		
	建設業	1	2	1							4			3	1		3	1			3	1				4			3	1
	運輸業		1									1			1			1				1				1			1	
	その他	1										1			1			1				1				1			1	
小計	4	12	4				3	17			18	2	1	12	7		14	6				19	1	1	12	7				
合計	10	18	12	2	23	4	6	32	2	1	36	3	3	21	16	3	28	9	5	10	5	2	33	5	5	17	18			

最近の主要指標の前年同月比D I の推移

(令和2年5月～令和3年5月)

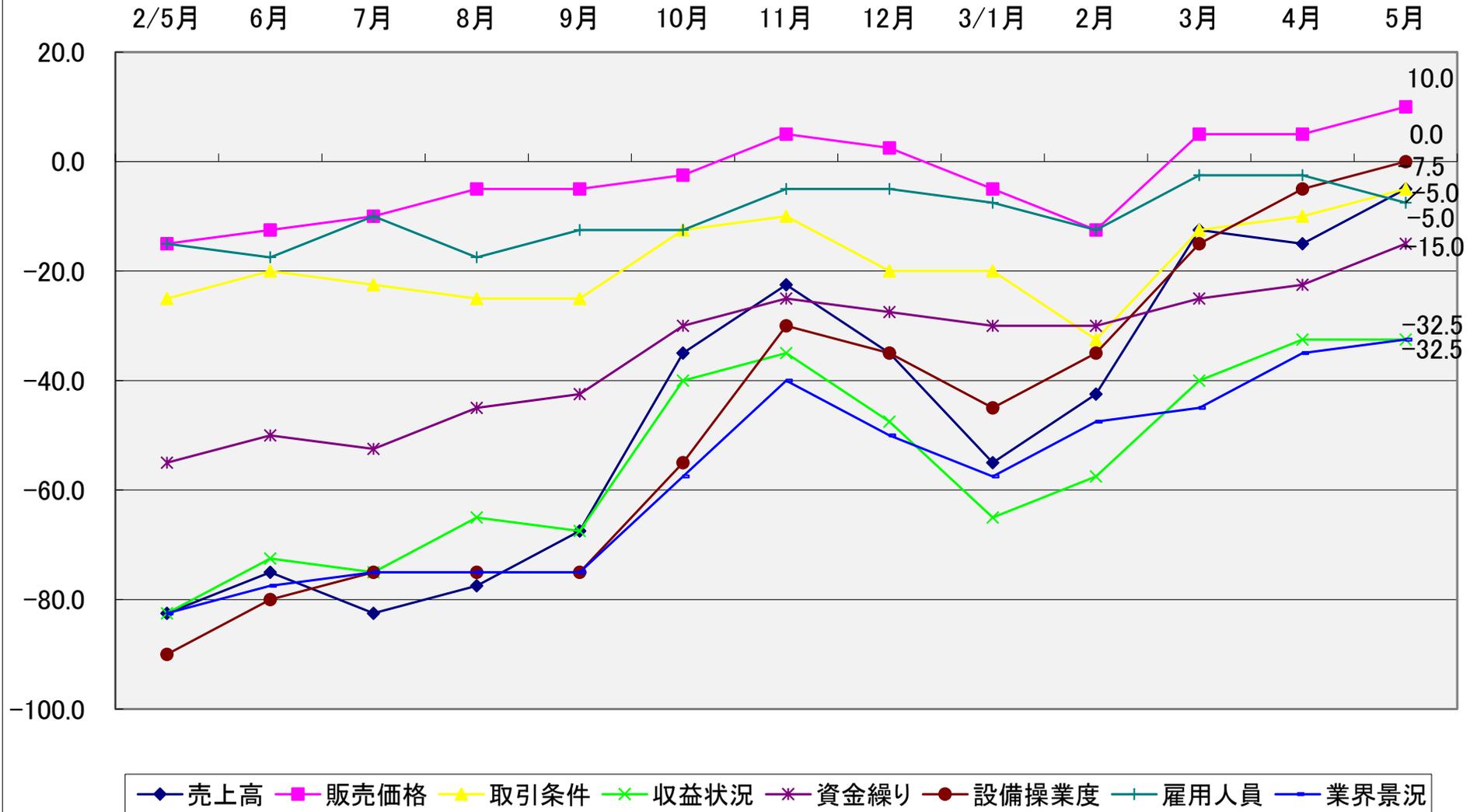
三重県中小企業団体中央会

連絡員総数 40 名

	2/5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	3/1月	2月	3月	4月	5月	増減
売上高	-82.5	-75.0	-82.5	-77.5	-67.5	-35.0	-22.5	-35.0	-55.0	-42.5	-12.5	-15.0	-5.0	10.0
販売価格	-15.0	-12.5	-10.0	-5.0	-5.0	-2.5	5.0	2.5	-5.0	-12.5	5.0	5.0	10.0	5.0
取引条件	-25.0	-20.0	-22.5	-25.0	-25.0	-12.5	-10.0	-20.0	-20.0	-32.5	-12.5	-10.0	-5.0	5.0
収益状況	-82.5	-72.5	-75.0	-65.0	-67.5	-40.0	-35.0	-47.5	-65.0	-57.5	-40.0	-32.5	-32.5	0.0
資金繰り	-55.0	-50.0	-52.5	-45.0	-42.5	-30.0	-25.0	-27.5	-30.0	-30.0	-25.0	-22.5	-15.0	7.5
設備操業度	-90.0	-80.0	-75.0	-75.0	-75.0	-55.0	-30.0	-35.0	-45.0	-35.0	-15.0	-5.0	0.0	5.0
雇用人員	-15.0	-17.5	-10.0	-17.5	-12.5	-12.5	-5.0	-5.0	-7.5	-12.5	-2.5	-2.5	-7.5	-5.0
業界景況	-82.5	-77.5	-75.0	-75.0	-75.0	-57.5	-40.0	-50.0	-57.5	-47.5	-45.0	-35.0	-32.5	2.5

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする
企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

最近の主要指標の前年同月比DIの推移



情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食料品	漬物	原料用野菜は順調な入荷となっているが、生産者の高齢化と後継者不足により、一部業者の中では漬物原料野菜の供給不足が続いている。そのため伝統的な漬物においても原料不足のため、代替原料による新たな商品開発の試みが行われている。また販売状況においても、コロナウィルスに関わる外出自粛の影響により、駅、土産物店等でお土産物の漬物の販売及び外食産業での需要が大きく減少している。今年度は全日本漬物協同組合連合会の通常総会が5月28日に東京で開催され、書面決議を行った。
	醤油味噌	去年も悪かったので、今年も特に大きな変化はない。原料の高騰が一部始まっているが、主原料は6月から大きく高騰する。商品への転嫁はなかなか難しく、さらに利益が圧迫されるというより、元々利益が上がっておらず、ますます赤字の事務所が増える見込みである。6月からHACCPが義務化されたが、まだ対応できていない事務所もある。
	豆腐	コロナ不況に加えて、燃料、原材料(大豆)が値上がりしてきており、収益は悪化している。
	製麺	まん延防止等重点措置が4月20日より発令され、昨年に比べると少しは戻ってきているが、まだまだ厳しい状況には変わらず、ワクチン接種が5月末より始まったので、早期の回復を期待している。
繊維工業	衣料縫製	昨年に比べると仕事量も少しずつであるが、回復してきている。しかしながら、実習生の入国が昨年より困難をきたしており、未だ一人も入国できていない。そのため、生産量が低下している。
木材・木製品	木材	外材製品の輸入減により、代替需要が発生し、フル稼働を続ける製材工場もあるが、全てを代替の樹種製品で賄うことは困難で不足感が大きい状況である。原木、製品価格も上昇を続けており、住宅建設の遅延や住宅価格の上昇が危惧されている。
紙・紙加工品	紙器段ボール	ゴールデンウィークの長い休みや、コロナ禍の外出規制等により需要が低迷し、相対的に段ボール関係の生産量も少なくなった。自動車関係の分野では輸出が増え、仕事量は増加したようである。
	古紙	5月の仕入れ量は：段ボール・約97±5%、新聞、チラシ・約105±12%、雑誌・雑がみ、その他を合わせて約89±7%である。古紙の発生で段ボールは先月と変わらず前年比で微減、新聞チラシは、前年の集団回収中止から再開もあり前年比プラスの所も見受けられる。雑誌・雑がみは、昨年のGO TOトラベル中止により5月長期休暇以降に大幅な増加を示した結果、本年は大幅に前年比マイナスとなった所も見受けられる。古着も例年比・約140%程の集荷であったので雑誌・ざつ紙と同様である。円安とアジア圏の原材料不足で資源物全般の輸出価格が値上がりし国内価格を上回っている様である。国内製紙会社は、生産量は減っているところが多く、例年のメンテナンスがありながらも古紙の購入量を例年並みに戻したところもある。古紙の持ち去り行為は無くならないが古紙業界で法制化の動きがある。ゴミの不法投棄等も前年並みとなった。
印刷	印刷	今年度は、十分な感染予防対策をして総会を開催した。組合員は、1社減少した。令和2年度の全日本印刷工業組合連合会では、3.8%減でコロナ禍の影響も大きいと思われる。業況は、売上等を不変としたがこれは、コロナ禍の影響による厳しい業況が昨年と変わらない状況ということである。□
窯業・土石製品	伊賀焼	三重県のまん延防止等重点措置に伴い、来館者数、売上共に減少している。増加傾向であった団体陶芸教室についてもキャンセルが多く発生している状況である。
鉄鋼・金属	鍍金	当業界の景況は4月と比べ若干ではあるが増加傾向にある。自動車関連は半導体不足の影響を受け若干の伸びにとどまった。今後メーカーの生産調整もあり横並び又は減少に転ずる恐れがあり、機械部品は4月並みの状況が続くそうである。その他の製品は横並びである。半導体関連は品薄の状況から、製造装置の部品も含め好調が続く6月以降もさらに増産といった傾向にある。
一般機器	四日市	ウイルス感染症が世界中に拡がって、社会の経済も戦後最大の下落を見せた。GDPの数値も直近では米国がプラス3%なのに我が国はマイナス4.6%とリーマンショック時を更に下回っている。組合員一同、いかに対応してゆくのか、各社それぞれに策を立てなければならない。
	津市	昨年5月は大幅な受注減があったため、昨年と比べると1.5倍近い伸びである。また、ゴールデンウィークにより例年は落ち込むが、思っていたより業績は良いのかと思う。ただし、内示の情報では、5月より少ない数字がきている。これがコロナの影響なのか、半導体不足の影響なのか、中小企業までは情報が届いてこないため、材料の発注に苦慮している。
	伊勢	3回目の非常事態宣言も6月20日までの延長が決まり、ますます先行きがわからなくなってきた。日本で暮らす我々は感染対策もキッチリと取り、対応している。海外から見れば、「日本に行くのは怖い。日本にいる外国人は早く帰国すべき」となっている様子である。輸出が減り、設備操業度が落ち、企業の設備投資もなくなり、厳しさは増している。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
電気機器	鳥羽	受発注の激減(約40%ダウン)で非常に厳しい。また、使用材料(鉄鋼SUS)の品不足から仕入価格が25~30%上昇し、状況は非常に悪い。
	輸送機器	半導体不足の影響で例年通りの1週間程度の大型連休に加えて更に1週間以上を休業にする自動車メーカーがある中で、大幅な生産調整が必要になった。その一方で国内外で船外機の需要が急激に高まっているとのことで、下期の生産計画で通常の1.3倍での増産要請があった。
小売業	青果	野菜前半:白菜、ほうれん草は安値が続いている。特にピーマンがお買い得で宮崎、鹿児島等、西日本と茨城を中心とした関東産が順調に入荷したため、安くなっている。野菜後半:早い梅雨入りの影響で全体的に入荷量が減り、価格が不安定である。きゅうり、なすは値上がりし、人参は平年並みの価格である。トマトは入荷が順調である。鳥取産らっきょうは完熟してからの出荷が基本で、しゃきっとして食感が良く、入荷も順調である。県内産、和歌山産の小梅、大梅は昨年より早く入荷が増えてきた。果物前半:春から夏物へ入れ替わってきた。熊本産すいかの入荷が順調で、静岡産、熊本産メロンは値下がりし、デコボンも終盤で愛知産のハウスみかんが入荷している。果物後半:熊本産すいかが終盤で、愛知産の入荷が増え、やや値下がりしている。山形産が人気のさくらんぼの入荷が始まる。島根産デラウエアも入荷量が増えている。
	自転車	自転車利用者にとって、季節も最高の月である。電動アシスト自転車やクロスバイク等、高付加価値商品の需要が拡大するものと期待する中、コロナ禍により、外出自粛要請で人々の行動が制限された事により、個人消費が大きく落ち込んだ。初旬の長期連休、中旬以降、例年よりも早い梅雨入りも重なり、組合員のショップでの修理も皆無となった。自転車産業の動向が(一財)自転車産業振興協会より、2020年の自転車生産、輸入統計が発表された。(1)国内生産台数86万8千台(前年比:98.2%)、(2)輸入台数630万9千台(前年比:101.9%)、(3)国内需要台数717万7千台(前年比:100.8%)となり、2019年度に続き微増となった。
	電器	5月は長引くコロナ禍の影響で販売は前年に対して大きくダウンする事になった。昨年は特別定額給付金の事前効果もあり、買替需要が大きく需要を牽引し販売に貢献したが、5月は特需のマイナス要素が顕著になった。家電製品は必需品要素が高く買替需要がある事が業界として厳しい中でも救いとなっていたが、テレワークや巣ごもりと新たな環境にも敏感に対応してきたが、半面耐久品である為販売を引っ張った好調商品の販売苦戦が目立つ。洗濯機・エアコン・冷蔵庫・空気清浄機関連商品が不調であった。コロナ禍の中で催事のあり方も変わってきている。催事に手間と金をかける店とそうでない店の販売格差が大きくなり二極化が進んでいる。在庫は実需とのタイムラグがあるので増えつつある。心配は長引く需要の低迷の中、今後の見通しは非常に厳しい状況が予想されることである。さらに店主の高齢化による自主廃業が大きな課題で、業界の中でも地域電器専門店はこの課題への対応・解決が大きな問題となっている。まさに事業継承の課題が顕在化しつつある。前年もそうだったが、高齢店主の販売ダウン中、自主廃業がコロナ禍の中で加速されつつある。
	石油	今年の桜の開花は例年になく早い開花となった。普通なら人が動き車も動く時期なのにコロナ禍の中ではどこもかしこも公園にはロープが張られ花見を楽しむ雰囲気ではなかった。車が動かなければガソリン等の消費が落ちる。県内のSS経営者に売れ行きを聞いてみると、2~3割は落ちている。伊勢、鳥羽のSS経営者の話から、当地域のホテル旅館を利用する修学旅行が全てキャンセルが出ている。個人客も集まらない。当たり前の話であるが、人の動きと燃料は比例している、ゴールデンウィークも、なぜか動かない連休となった。三重県のコロナ感染者数も増えている。一日でも早く、国民に新型コロナワクチンが接種され、安心した生活の中で消費が進むことを期待する。
	スポーツ	5月末にインターハイ予選があった。各組合員ともお得意先のユニフォーム用具の納入に忙しい月であった。各市町で国体の準備が急ピッチで始まっている。コロナ禍の中、会議をしないようにしているので、連絡を取り合うのが大変である。中止、あるいは延期等にならない事を願うばかりである。
商店街	熊野市	新型コロナウイルスが県下で広がる中、市内においてもクラスターが発生し、商店街への入込客は激減した。店舗への来店客も同様に少なく売上も相当落ち込んだ。毎月第4日曜に開催される朝市イベントも感染拡大を懸念しやむなく中止となった。下旬になりようやく入込客も徐々に増えつつあるが、まだまだ消費の落ち込みは厳しいようである。
サービス業	旅館	今年のゴールデンウィークは5月1日~4日は例年と変わらない位の集客で、近場のお客が多く、特に日帰り入浴と魚釣り等を楽しむ日帰り客で賑わっていた。しかし、ゴールデンウィーク(4月29日~5月5日)の一週間では5月1日~4日以外は極端に閑散としたため、ゴールデンウィーク中の実績は一昨年比40~50%となった。それでも昨年は知事の要請によりゴールデンウィークは休館して、そのまま5月中休館の施設が多く、売上ゼロであった事に比べると、今年は一定の売上は残せたが、その後はまん延防止等措置等の発出により、客足は遠く、休館している施設が多かった。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
サービス業	測量	仕事柄、新型コロナウイルス感染症の可能性は少なく作業には影響はない。官庁発注の業務はまだ少ない。例年並みの発注量で民間発注はほぼゼロである。決算額については昨年のほぼ半額である。
	警備	前年度よりコロナの影響が大きく、イベント警備はほとんどなく、また今年は梅雨入りが早く、雨天のため工事等の中止が多く、売上が減少となった。
建設業	総合工事業	4月と5月の公共工事の発注状況は、国発注工事、県発注工事いずれも昨年を上回っている (前年同期比128%増)。令和2年度補正予算を財源とする工事が順調に発注されたものと考えられる。令和3年度事業への切れ目のない工事発注を期待している。
	内装工事業	連休もあり、5月は毎年売上は少ないが、今年はコロナウイルスの影響のため、対前年同月比で減少となった。なかなかコロナウイルスが終息に向かっていないので、減少傾向は続くと思われる。
	水道工事業 (亀山)	衛生資材の納期が物によっては3ヶ月待ちの物も出てきている。施主が資材業者との打合せを密にして、代用品での仮施工等の対応が必要となっている。
運輸業	トラック	燃料価格は先月に比べて上昇している。世界的な半導体不足から、依然自動車関連の輸送は低迷しているもののプラチック製品、化学製品、電子部品の製造が上向き傾向にある事から、関連する輸送も増加した。しかし、長引くコロナ禍の影響により、好調だったスーパーマーケット関連の輸送は減少に転じた。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	製麺	6月よりHACCP義務化対応のため、HACCPの考え方を取り入れた衛生管理を各組合員と確認している。今後ともよろしくお願いします。
繊維工業	衣料縫製	補助金の拡充。外国人技能実習機構の書式が新・旧更新しても番号が変わらないため、わかりにくい。
一般機器	四日市	ワクチンの接種が遅れ気味である。政府は経済活動を復活させるためにも、思い切った施策を実行してほしい。
小売業	スポーツ	前回、インボイス制度の説明会の開催をお願いしていたが、インターネットでの検索等によると我々スポーツ用品販売者には関係がないように思われる。
サービス業	旅館	飲食店に対する時短営業等、様々な規制・協力金等が出ているが、旅館ホテルも合わせて飲食業許可を取っている施設が多く規制・協力金についての問い合わせが多く、明確な説明を出してもらいたい。
	測量	組合員各位の緩やかな成長を望んでいる。